

生駒市議会議員(4期) 元生駒総合病院医師

伊木 まり子

いのちより
大切なものはない！

コロナ禍を教訓に
市立病院を活かした
感染症にも強いまちをつくりたい

伊木まり子のプロフィール

- 昭和31年 大和病院(旧生駒総合病院の前身)で出生、ずっと生駒在住。いこま保育園、生駒小学校、生駒中学校、奈良高校、奈良県立医科大学卒業
- 昭和55年 医師免許取得。大阪医科大学皮膚科学教室入局。外来医長、皮膚科専門医、医学博士
- 平成5年 生駒総合病院皮膚科医長
- 平成17年3月 生駒総合病院閉院のため退職
- 平成18年 生駒市新病院整備専門委員会 委員
- 平成19年 生駒市議会議員選挙で初当選
- 現在4期目生駒市議会 副議長(令和1、2年、令和4年11月～現在)
- 市民活動 NPO法人生駒の地域医療を育てる会 理事・事務局長

証紙

安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう

伊木まり子のめざすまちは・・・

この3年間、コロナ禍により保健・医療・介護の脆弱さが露呈しました。

このままでは安心して暮らせない！

コロナ禍を教訓に 市立病院を活かした感染症にも強いまち！



その1

元生駒総合病院医師として

コロナ禍を教訓に **安全安心の地域医療** をめざします

- 市立病院を中心に **新たな感染症に備えた健康危機管理体制**を
- 感染症流行にも対応できる **災害時医療体制のバージョンアップ**を
- 平時から医療と介護を支える **情報ネットワークによる効率的な連携**を
- 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会を活かし、**誰ひとり取り残さない仕組みづくり**を
- 高齢者に寄り添うあたたかい医療と介護の充実したまち**を



その2

臨床医として母として祖母として

こどもの命と人権を守り、**多様性を尊重するまち**をめざします

- こどもの病気、不調を早期に発見、対応できる**保健・医療体制**を
- すべてのこどもに**健やかな成育環境**を
- 保健・医療・教育・福祉の情報を一元化し、その子のために**有効活用**を
- こども・子育てのあらゆる問題を扱う**ワンストップ相談窓口**を
- こどもが躊躇（ちゅうちょ）せず声をあげられる**仕組みづくり**を

その3

4期16年在職の生駒市議会議員として

生駒に暮らす**一人一人につながる市政・議会**をめざします

- オンラインを活用し、市や議会について**気楽に話せる対話の会**を開催します
- 議員定数削減提案者として、**削減による弊害のない議会運営**をめざします
- 党派・会派の枠を超え、**熟議と互譲による市民のための議会**をめざします

旧生駒総合病院閉院時に患者さんやご家族、市民の皆さんと交わしたお約束「新病院開設」は実現しました。しかし、想定外のコロナ禍を経て、今一度、**市立病院を活かした新たな感染症にも強いまち**をめざします。

詳細は伊木まり子後援会ホームページをご覧ください。

